

# 趣意書

## 第 21 回 作業科学セミナー

日本作業科学研究会 (Japanese Society for the Study of Occupation) は、2006 年に作業と作業的存在である人間を研究する「作業科学」の研究推進と学問的發展を目的として設立されました。日本作業科学研究会では、以下のような点を目的として活動しています。

- (1) 作業科学の研究や教育において最新のトピックの普及
- (2) 人の作業に焦点を当てた学際的な研究の促進
- (3) 作業科学に関する研究・教育・政策をめぐる様々なアイデアを、国内または国際的レベルで交換していくこと。

作業科学セミナーは、1995 年に札幌医科大学の修士課程作業科学コースに端を発し、札幌で開催された後、浜松、大阪、倉敷、東京、福岡、沖縄、広島、山口、愛知と全国各地で毎年開催されてきました。今回、大阪で再度開催されることになりました。

セミナーは、講演や演題発表で構成されており、海外講師の基調講演、有識者による特別講演を含み、全国の作業科学者、広い世代の作業療法士や作業療法養成校の教員が参加しています。

作業科学は、人が毎日繰り返し行う作業を研究しており、その研究の臨床応用は人が健康な生活を送ることを促進します。諸外国では既に作業療法の基礎的学問として位置付けられており、よって、作業療法士の臨床知識の基盤となる学識であり、臨床応用可能な研究成果がセミナーおよび学術誌で発表されています。また、これらの知識は日本国民の健康に大きく寄与できるものと考えております。

### 記

テーマ：作業科学を臨床に結び付けるための原点回帰—作業的存在を問い直す—

会 期：平成 29 年 12 月 9 日 (土)、10 日 (日)

会 場：大阪リバーサイドホテル (大阪府大阪市都島区中野町 5-12-30)

内 容：特別講演：森川すいめい (世界の医療団 理事)

佐藤剛記念講演：ボンジェ・ペイター (首都大学東京 教授)

基調講演：サラ・カンターズィス (Queen Margaret University, Senior Lecturer)

基礎講座：吉川ひろみ (県立広島大学 教授)

ワークショップ

演題発表

参加費：\*両日参加 会員 (7,000 円)、非会員 (10,000 円)、学生 (3,000 円)

\*1日参加 会員 (5,000 円)、非会員 (7,000 円)、学生 (3,000 円)

主 催：日本作業科学研究会

後 援：大阪府作業療法士会

以上

第 21 回作業科学セミナー

大会長 酒井ひとみ (関西福祉科学大学)

# 第21回 作業科学セミナー

作業科学を臨床に結び付けるための原点回帰  
－作業的存在を問いなおす－

**期間** 2017年  
12月9日(土)・10日(日)

**会場** 大阪リバーサイドホテル  
(大阪府大阪市都島区中野町5-12-30)

**大会長** 酒井ひとみ  
(関西福祉科学大学)

**主催** 日本作業科学研究会  
<http://www.jssso.jp/>

**担当** さとり会  
(作業を取り扱う勉強会)

**問合せ** osseminar21@jssso.jp

## 特別講演

**森川 すいめい** 世界の医療団 理事  
本人のいないところで本人のことを決めない  
－オープンダイアログに学ぶ生き方とは－

## 佐藤剛記念講演

**ボンジェ・ペイター** 首都大学東京 教授

Occupying daily life: Invoking the powers of occupation  
満ち満ちてゆく日常生活: 作業の力を引き起こす

## 基調講演

**サラ・カンターズイス** Queen Margaret University, Senior Lecturer  
Perspectives on occupation-based social inclusion  
作業を基盤としたソーシャル・インクルージョンの視点

## 基礎講座

**吉川 ひろみ** 県立広島大学 教授  
作業科学基礎講座

## ワークショップ

作業的存在の知識の活用法

## 演題発表

口述・ポスター

【演題募集期間】2017年6月19日～7月30日

【事前申込期間】2017年6月19日～10月31日

※演題募集・事前申込の詳細は主催HPをご確認ください。



後援: 大阪府作業療法士会